

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
現代社会と福祉 I			選択	2	1	前期	
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
田村 正人		B308	masato.tamura		水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要		<p>(目的) 本科目では、「福祉」に関する素朴な疑問について、私たちが安心して暮らし、働ける仕組みとしての福祉について、学生が主体的に学び、社会全体のウェルビーイング（幸福）を高める「人を見る視点」と「社会の見方」を理解し、実践的な解決力を身につけることを目的とする。</p> <p>(概要) 福祉を身近なテーマから捉え、生活や働くこととの関係を考える。事前課題や動画、グループワークを通して、自分の将来や社会とのつながりとして主体的に理解を深まるよう授業を進める。</p>					
授業形式・方法		<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク)			
学習上の助言		授業での学びをより深めるために、授業に関連する時事問題などに関心をもち積極的に調べるなど探求することが望ましい。					
教科書		なし					
参考書		なし					
外部教材		なし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針		
①	現代の社会問題を社会的背景との関係から理解し説明することができる。				HSU(1)(2)(6)	HS(1)(5)	
②	課題への取り組みを通して、社会人に必要な基礎力を身につけることができている。				HSU(2)(4)(5)	HS(4)(6)	
③	社会福祉学の基本的な知識を理解することができる。				HSU(1)(2)(6)	HS(1)(2)(5)	
④	豊かな社会をつくるために、人と人をつなぎ共生することの意義について説明できる。				HSU(1)(3)(5)	HS(1)(2)	
⑤							
⑥							
授 業 計 画							
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）				
1	オリエンテーション（授業の進め方、評価等についての説明、学習方法について理解する。）	講義	シラバスを精読する			2	
2	福祉って結局なに？（人生で損しないための知識）	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			4	
3	昔の人はどうやって生きてた？（福祉がない世界）	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			4	
4	なぜ“助ける仕組み”ができたのか？	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			4	
5	日本の福祉ってどうできた？	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			4	
6	「助ける」って何？（正義とモヤモヤ）	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			4	
7	人はなぜ困るのか？（見えない原因）	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			4	
8	炎上しがちな福祉の話。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			4	
9	「困ってる人」って誰？	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			4	
10	今の社会のヤバイ問題	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			4	
11	なぜ問題はなくなるのか？	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			4	
12	知らないと損する“社会の仕組み”。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			4	
13	いい会社・ヤバイ会社の見分け方。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			4	
14	ニーズを読む力=仕事ができる人。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			4	
15	社会で生きる力まとめ。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。			6	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。						

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	60	26	0	14	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	20	26	0	9	55
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	5	15
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	学期末レポートにより、学習の達成度を評価する（60点満点）。提出は、Teams 上の指定した形式にて提出をする。				提出したレポートは採点をして Teams にて返却をする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	授業内容の理解を深めるために、事前課題を毎回課し、授業終了時に提出する。課題への取り組み内容について評価する。 1 課題につき 2 点満点とし、課題に対する考察や疑問を記載すること。				提出された課題は次回授業時に採点をして返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業終了時に学んだこと、関心を持ったこと、疑問などを要約してリアクションペーパーを提出してもらい、授業の取り組み姿勢を評価する。				質問があった場合、授業内にて共有する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	社会福祉士として認知症高齢者や知的障害者、精神障害者の成年後見人の受任や、障害者の権利擁護法人の運営等をして 13 年の実践経験。						
実践的授業の内容	シラバスの内容に沿って、教員が実践の中で得た知見を交えて科目内容を、できるだけ分かりやすく学ぶことができるように学習を進める。						
そ の 他	(受講する際の注意事項) ・シラバス内容を講義の進行状況によって変更することがありえる。 ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は原則禁止する。 ・生成AI (ChatGPT等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 ・受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退室をしてもらう。						